

第9回 みんなの会議事録

平成31年4月24日 19:00～21:00

ロゼシアター第3会議室

「施設利用のルールを考えよう」

参加者：市民10名、行政3名、事業者5名、アドバイザー1名

- ① 環境に特に関係しない映画をみたい人達がきて、シアタースペースを貸して欲しいといった場合に貸すことはできるか。
貸すことはできると考えるが、クールシェアといった利用目的にしてはどうか。
→ 環境学習施設のスタイルがないと、なんでもいいではいけないのではないか。
→ では、事務局等が環境学習施設にふさわしい講座に貸出等の優先順位をつけるのか？例えば、講座を開き、一般から募集する場合を優先とするのか？
→ そこまではという意見が多数であった。
- ② フリーマーケットを開くとして、利用料をとるのか（一区画など）。
屋内で開く場合は実習室か、シネマの部屋。そこまでの広さはない。屋外の場合は駐車場を減らすということであり、貸出のハードルは高くなる。指定管理者・事務局と相談してすすめる。
- ③ 施設内で修理・作成したものを販売するのに手数料をとるのか
講座生の場合は、フリーマーケットを開くのと一緒ではないか。施設内に予定されているリユース家具は、指定管理者が管理し、市の収入となるかと、思われる。
- ④ 部屋の貸し方
富士市の現状では、電話予約後、用紙に記入しに行かなければならない。ネット予約ができると、利用しやすい。まちづくりセンターと同じにはしない方がよい。単なる貸室にはしない方がよい。有料・無料の別はまだ議論する必要がある。一部有料を検討中。検討内容は、目的はあくまでも環境関係だが、企業の研修、営利目的（実費負担を超える場合）は有料とし、指定管理者の収入となる。
- ⑤ 登録の仕方
団体の登録時に環境に関するワードを入れる。
何年かに一度登録の見直しを行う。登録時にはわからなかったルール違反の団体登録を取り消す。オーガニック化粧品など商材を扱う、有料の教育塾など。
富士市の現状として、必ず参加しなくてはならない掃除や登録説明会が多い。登録時のネックになる。

今年度中（令和2年3月）に開館時間：温浴施設 9-21、環境学習施設 9-17 時、及び定休日（月曜日）が決まる予定。時間等変更はあるかもしれない。

⑥講座で作成したものを販売することはできるか。

販売は販売スペースで行う。販売スペースと飲食店は、無料で入れる場所にある。

⑦まちづくりセンターでは、講師が参加者を募集することは、できない。まちづくりセンターの自主事業の場合は可能である。登録団体（任意の集まり）が利用することはできる。また、登録団体（任意の集まり）が講師をまねくことはできる。環境学習施設では、基本的にまちづくりセンターと同じ様になると思われるが、事務局で対応可能かどうか、決めることとなる。なぜ自主事業以外で、募集をかけることができないかという、講座等の問い合わせがあった場合、センターでは内容を把握していないので、対応することができないからである。

⑧その他

施設の機関紙に載せられると、団体のイベントをPRすることができる。

1. 施設の利用は「環境」に関係のある目的をすること。
2. 登録をするかどうかは決まっていないが、まちづくりセンターを同じ登録が必要な施設になると考えられる。
3. まちづくセンターとは異なり、ネット予約ができると利便性が高いので、希望する。
4. 登録者会での掃除や年に一度の登録更新は、負担が大きい人もいるので、頻度を減らせればと考える。
5. まちづくりセンターと同じように、自主事業以外で募集の必要な講座、講習は行われたい。
6. 通常の貸室の枠を超えるレンタル（駐車場を使つてのフリーマーケット、ホールを広げてのイベントなど）は、自主事業以外考えていない。

5月22日（水曜日）は観光ルートと結びつけようです。できればクリーン工房さんの考えている案についてお聞きしたい。

観光課に臨席願えないか。

ママかぐや

乳幼児子育て支援を行っている。孤独な子育てを行っている家庭も多いので、多世代の子育てを行いたいと考えている。

活動としては、

① 不要な子供服を交換する子育て用品のシェア会。

年1回開催しており、現在在庫も持っている。持ち込んだ人は枚数分無料でもらうことができる。持ち込んだ枚数以上の場合は、1枚100円を貰う。活動費に当てている。

→ 会場は無料がよい。教室3つ分の広いスペースで、妊婦さんが屈む必要の無いように机に並べて、椅子がいくつもあり、キッズスペースがあるとよい。

→ クローズのイベントにはしたくない。一度老人ホームで、子育て用品のシェア会を開いた時にはお年寄りが孫にと言って、服を買って行ってくれた。それがよかった。

② 親子でクッキング。

つけナポリタン講座。年1回開催の予定。

→ 環境学習施設のキッチンでお料理教室などが考えられる。平日の9~12時、13~15時など。昼やゴザなどがあると、子供と一緒に食事をするのに利用しやすい。汚れてもいいものがよい。休日もあり。料理教室を開催するのはいいが、講師料がもらえるとつづけ易い。

「いろいろな年代の人が、子育て中の親に隣人として関わってくれているという状態がよい、その場所は子育て中の親が通い易い場所」、「子育て中の母親が、母親だということで、母親どうし友達になることの不自然さと息苦しき」を、お話を聞いていて感じました。

神戸で親子サミットがあった時に、子供たちが走り回ってもよい空気感があった。エプロンをつけているスタッフは子供の支援をしますと、案内があった。子育てを支える雰囲気があるとよい。バスでうるさいと言われたことがある。公共の施設でも気を使う。子育てしやすい場所を考えてほしい。

→ 環境学習施設の指針として、「子育てにやさしい施設を目指す」とできないか。ボランティア養成講座が開かれるが、講座の一つに「子育て支援。」「子供への声のかけ方。頭ごなしに怒るのではなく、なぜ走ってはいけないのか説明しましょう。」「泣いている子がいたら、親を責めるのではなく、一緒に泣き止むように工夫しましょう。」みたいな講座を開くことはできないか。

→ いろいろな無料で遊べるおもちゃがあるといい。(ボールプール楽しいですよ)。木のおもちゃ、らくがきスペースある。(たまに全部消す)

→ 多世代が出会える施設にしたい。子供たちが過ごす、環境のコンテンツがある、成長していける。